



今だからこそ

健やかな子供たちを育む 松之山型教育環境の存続を！



今年七月に公表された「令和三年度、令和五年度県立高校等再編計画」で、松之山分校が令和五年度の募集停止を示したことについて、新潟県高等学校教育課長と松高支援連絡会（小野塚良雄会長）との意見交換会が、十一月二十日に休養村センターで開催されました。

この話し合いの場は、七月の公表を受けた松高支援連絡会が県教委を訪れ、計画の見直し要望を行った際に県から申し出があった実現したもので、県からは長谷川高等学校教育課長他二名、地元は松高支援連絡会のメンバー十六名と市教育委員会の田村学校教育課長が参加しました。

開会に先立ち小野塚会長は「この話し合いにより、何はともあれここに学ぶ子供たちの為の方向性を見出し、それに向かって進んでいただける締めくくりを期待する。」と話し、県の前向きな対応を期待しました。県の長谷川課長は、「松之山地域の分校への熱意と、これまで取り組んでこられた多大なご支援に深く感謝する。」と話す一方、「少子化が進む中で全県的な高校教育環境を考えると、再編は避けて通れないことでありご理解いただきたい。」と挨拶した後、県立高校の生徒数の変化と今後の見通しを数字で示し、県の基本的な考え方（左下参照）に沿って進めることの必要性を説明しました。

この説明に対し地元からは、県の方針は理解できるが日本一面倒見の良い高校として、県外の同窓生からの支援も受けながら市内中学校への入学案内を行うとともに、通学バスを運行するなど地域一丸となって存続活動が続けていることや、地域が取り組んできた保・小・中・高の連携した子育て活動により、松之山独特の子育て環境も評価を得ている実績があること。再編計画は

全国どこでも進んでおり、県のご苦労も理解できるが、今の時代だからこそ少子化を逆に好機と捉え、活力に満ちた魅力ある学校づくりを創造していくことも一つの選択肢ではないか。そして地域がこれほど頑張っている時期において、せめて将来構想の最終令和九年までは見守っていただきたいなど、ほぼ全員から熱のこもった発言がありました。今回は結果的に双方の意見を出し合うだけになりましたが、最後に県の長谷川課長は、本日の皆様からの意見を持ち帰り、上に伝えていくと答え閉会となりました。

- 新潟県の基本的考え方 -

◇新潟県の県立高校の将来構想（期間：H30年度～R9年度）

生徒数が大幅に減少し高校の小規模化が進む中、望ましい学級規模を4～8学級とし、それに満たない学校は他校との統廃合を検討していく。

◇4～8学級とした理由

- ①多様な人間関係の中で切磋琢磨する機会が増加すること。
- ②個々の興味関心や進路希望に応じて選択できる科目数が増加すること。
- ③部活動の内容が充実すること。

※このような再編を進めることで、教員配置や財政的な効率化も図る目的がある。

名老百選に

六名が新たに認定

写真左から、高橋正治さん(天水島)、滝澤克己さん(天水越)、関口市長、滝澤博さん(松之山)、高橋重一さん(天水島)。
 なお、佐藤博さん(天水越)と佐藤勝一さん(天水越)は都合で欠席されました。



部門	氏名	部門	氏名
菊作り	高澤 欣一	創作舞踊	丸山 サワ
手芸	佐藤トミエ	活花	丸林 サダ
野鳥こけし創作	滝澤きく江	郷土歴史	早川 定雄
炭焼き	高橋 亥治	書道	本山 勉
舞踊	小野塚マチ	俳句・短歌・書道	佐藤 良雄
園芸	村山 ヤイ	かきもち	福原 貞昭
野鳥こけし	志賀マスエ	写真	佐藤 明彦
茅屋根葺き	小野塚昭八	俳句	高澤 静
舞踊	小野塚サク	囲碁	高橋 伊吉
歴史風土文化活動	村山 悦夫	果樹・野菜・接ぎ木	小野塚武彦
桶作り	佐藤 正夫	わら工品	重野 忠男
民謡	高橋 イセ	園芸・花作り	和久井忻之輔
音楽(バイオリン)	高澤 哲治	大正琴	石塚美和子
ゼンマイ栽培	柳 久作	山野草・マダヒ栽培	佐藤 輝國
仲人	村山 里志	蕎麦打ち	山口 クニ
囲碁	石塚 幸貞	自然	小口 成一
野鳥こけし台木	樋口 栄八	音楽	保坂 清
山笠作り	和久井三智子	野菜作り	志賀 佐一
農業・山菜朝市	竹内 清司	ゲートボール	福原 俊彦
民謡・尺八	保坂 廣一	音楽(GS/ホーカル)	佐藤 博
民芸品(木工芸)	志賀 政弘	音楽(GS/キーボード)	佐藤 勝一
竹細工・箕	高橋昭二郎	音楽(GS/トラムス)	高橋 正治
俳句	佐藤 民子	音楽(GS/ギター)	高橋 重一
スキー指導者	村山 市郎	音楽(民謡・演歌)	滝澤 克己
絵画	山口 清治	衣食(キノコ狩・鑑定)	滝澤 博

旧松之山町の町制施行三十周年(昭和六十二年)を期に発足した名老百選事業は、七十才以上で特出した技術を持った人を地域の名人として認定し、その技を広く周知しつつ次世代に繋げていくことを目的としています。

毎年一回、各集落や地域からの推薦があった候補者に対し、松之山支所と自治振興会及び関係組織代表者からなる認定委員会で審査し決定されます。今年度は六名が認定され、十一月十三日に関口市長から認定書を手渡されました。

事業発足以来、今年度で百七十六人の名老が認定されていますが、地域内に在住している現役名老は左表の五十名となっています。

各種イベントやサークル活動などで活躍されている方も多い中で、なかなかその技を見てもらうチャンスのない方もあることから、自治振興会では作品や活動状況などを紹介する企画を考えていこうという意見が出ています。名老の皆様からもご意見をお寄せいただければありがたいです。

令和2年11月現在の現役名老リストです。左上から認定順になっており、赤字部分が今回認定された新名老になります。

今年の美人林清掃活動

参加を予定されていた多くの皆さんに感謝しつつ、当日は地元「美人林を守る会」の皆さんが、冬を迎えるブナへ少しだけお手伝いを！



11月29日(日)に計画していた美人林清掃活動は、新型コロナウイルスが周辺自治体まで急速に広がってきたことを受け、残念ながら公募による作業は中止とさせていただきます。

ただ林内には倒木の危険のある木もあることから、地元美人林を守る会が中心となり、数本の伐採と片付け作業を行いました。間もなく雪の季節がやって来ますが、春には爽やかな新緑を見せてくれる

ことでしょう。

ブナの平均寿命は200才と言われている中で、美人林は約100才になります。美人林のブナは極めて細く背が高い特種な姿をしており、生態面ではとても弱い状態という事です。地元では今後も少しずつ手を加えながら、100年先まで守っていこうと決意を新たにしています。今後とも美人林を守る活動に、ご理解ご協力をお願いします。



野鳥こけしづくり体験会

個性溢れる十九匹のアカシヨウビンが勢揃いしました。

コロナ禍で延期していた春の体験会を、十一月十五日に開催しました。今回は子供から大人まで十九名がアカシヨウビンづくりに挑戦し、講師のアドバイスを受けながら一時間半余りをかけて仕上げ作業に取り組みました。写真は参加者が仕上げた作品ですが、一見そっくりでも良く眺めると個性が出ていますね。

自治振興会ではこの体験会によって、野鳥こけしを広く知ってもらうことと、若い世代の技術伝承者の育成を目指しています。

野鳥こけしは松之山で生まれ育った民芸品で、細かなたくさんの部品(パーツ)からなり、それを作る技術・人材の確保も喫緊の課題となっています。元来冬の農閑期の手仕事として考えられたものですが、多くの人が年間を通して勤めている今の時代では、なかなか手を出せる人がいないことも事実です。そのような中でも数人の若手が技術を磨いている確かな現実もあり、松之山地域としてどのように支援していくかを考える時期となっています。

松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【R2.8/1～10/31 まで】

お名前（順不同）	ご寄付金額
新潟市：阿部みき子様	10,000 円
箱根町：武藤静枝様	3,000 円
上越市：中島徹様	10,000 円
匿名様	10,000 円
※東京松之山会様より 「景観資金として」	100,000 円

いつもふるさと松之山を想っていただきありがとうございます。ご支援に厚く御礼申し上げます。



※東京松之山会様からの「景観資金」は、美人林の保護活動やブナの植樹・管理に要する費用に充てさせていただいています。



来年度事業の募集を年明けに行います！

今年はコロナ禍によりせつかくの計画が実施できなかった団体が続出しました。大変残念な結果になりましたが、どうか折れることなく次年度に挑戦して下さい。

新規事業への取り組みもお待ちしています。思いのほか色々なことが可能ですので、「こんなこと出来るのかな？」と疑問を感じたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

□問い合わせは下記電話番号へ、又はメールでも結構です。お待ちしております。

事務局：中島まで



【まちづくり事業取り組み例】

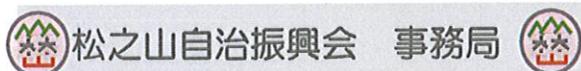
黒倉集落の「縄文の和黒倉」では、春に予定していた「春祭り」を中止し、秋の「新そば祭り」で本事業に取り組みました。

◇編集後記◇

□松之山分校の存続に関する県との話し合いに参加しました。地元参加者のほとんどから、存続の意義やこれまでの成果、地域挙げての支援策への取り組みなど、分校に対する熱き想いが発言されました。分校の存続を生涯目標として尽くされた故佐藤利幸氏が、まさにそこに同席しエールを送っている感覚を覚えました。

□名老百選で6名が新たに認定されました。そう思って周囲を見渡すと、松之山の高齢者は何らかの素晴らしい技を必ず持っていることに気が付きます。移住者にとって宝の山に見える気持ちが分かる気がします。

K,Nakajima



<https://www.facebook.com/hai.koncho>

☎942-1406 新潟県十日町市松之山 1597-2 (松之山支所 地域振興課内)

☎:025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp

【松之山の人口 11月末】総人口 1,820人 (男865人 女955人) 世帯数：810世帯

(総人口 前月比：-5人 世帯数 前月比：-1)